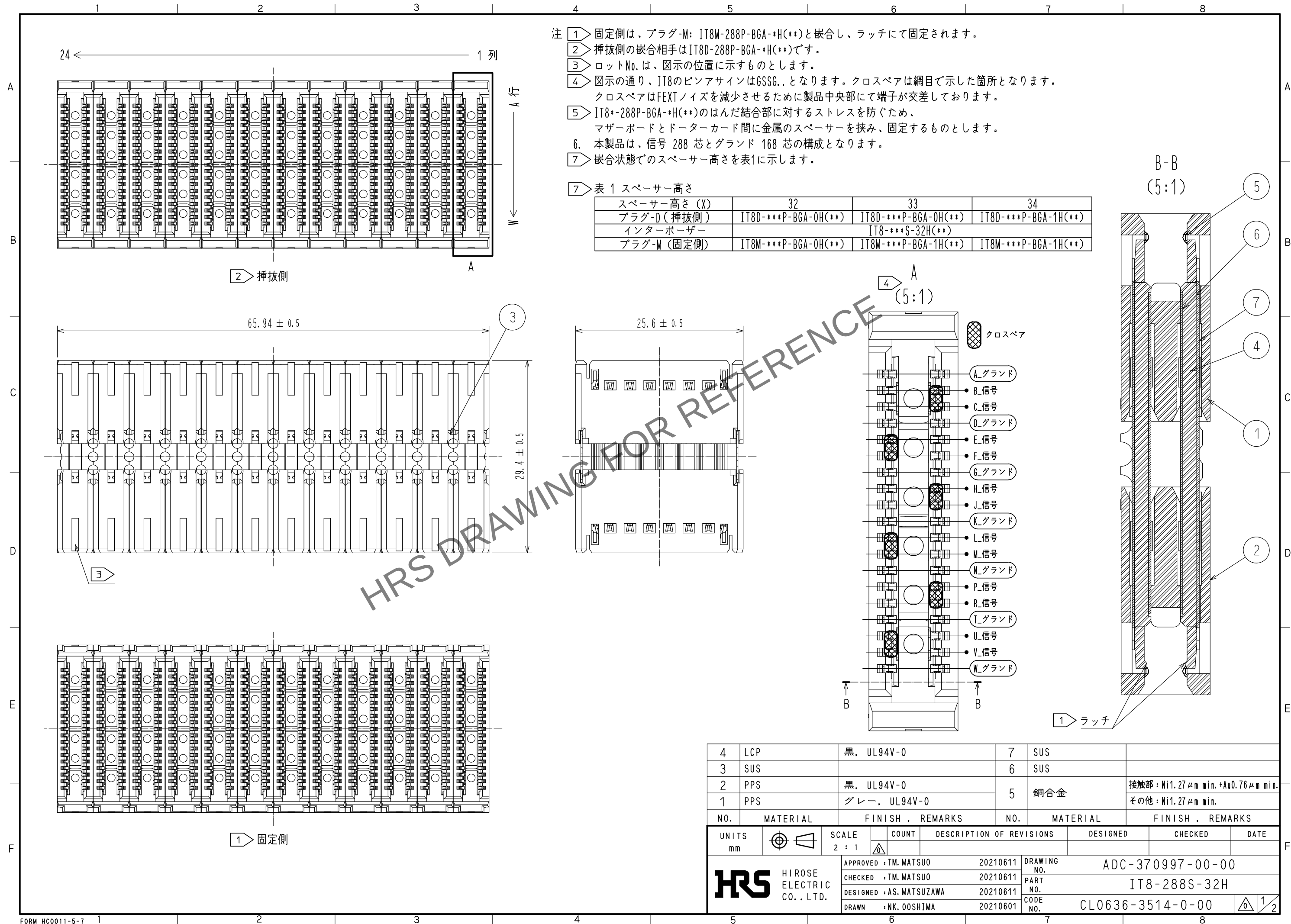


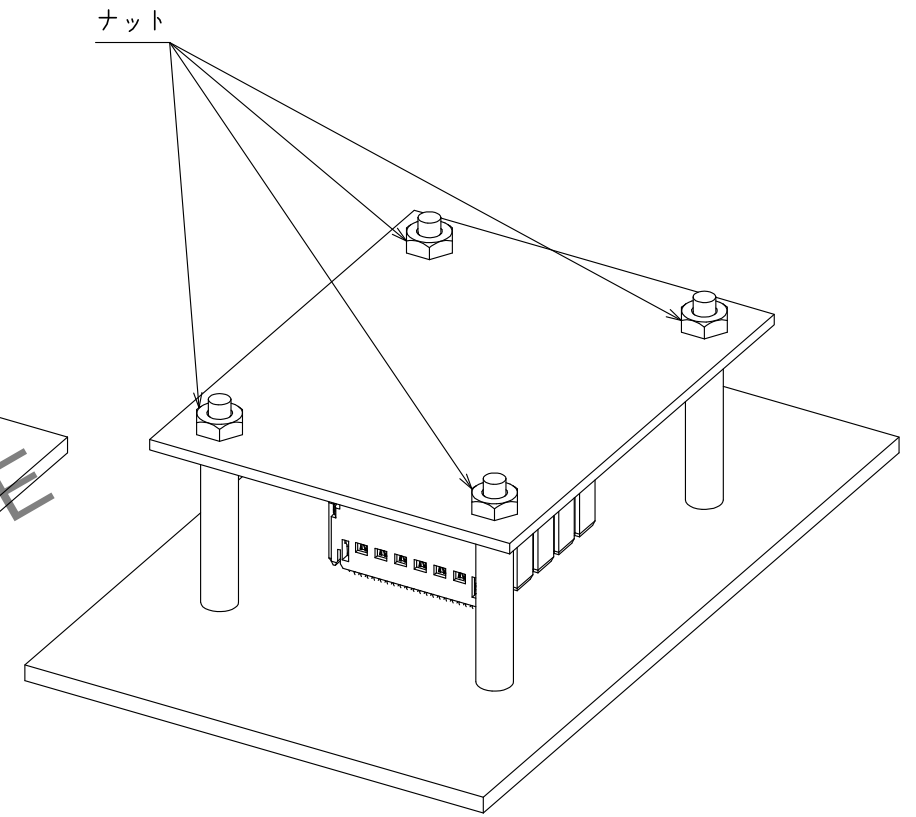
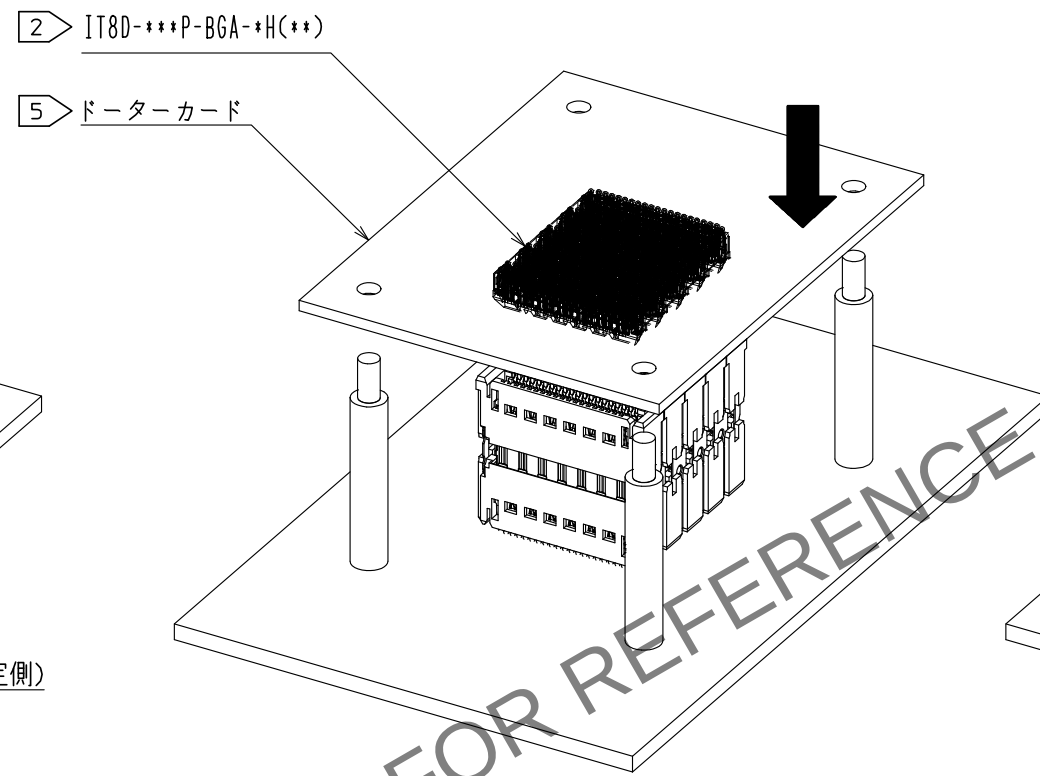
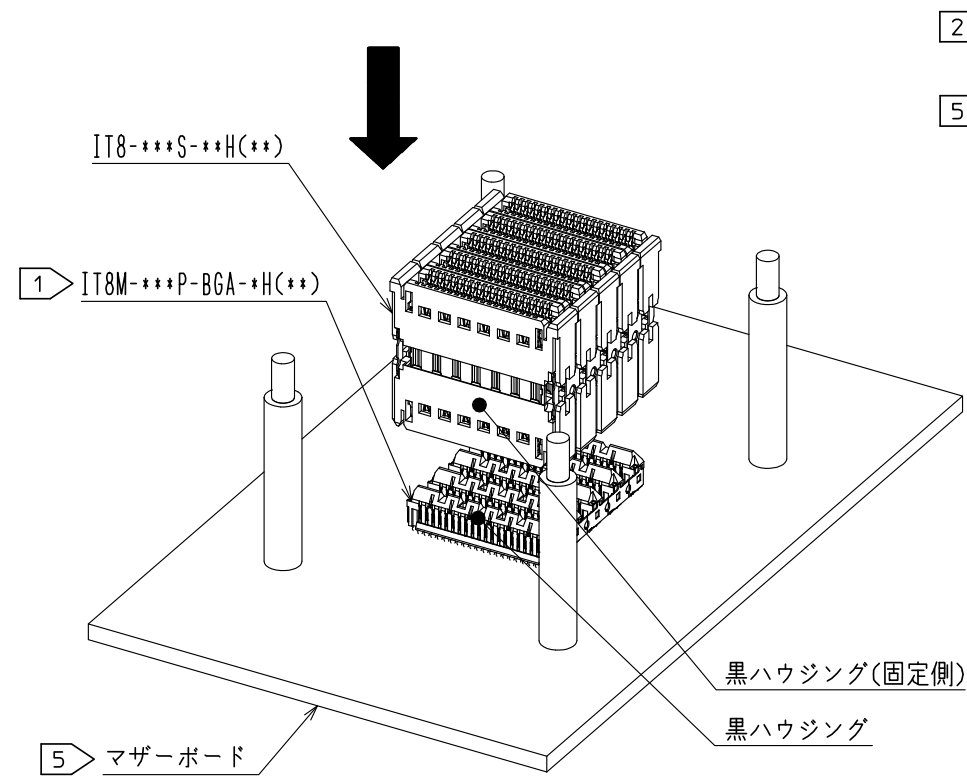


注 1 固定側は、プラグ-M: IT8M-288P-BGA-*H(**)と嵌合し、ラッチにて固定されます。
2 挿抜側の嵌合相手はIT8D-288P-BGA-*H(**)です。
3 ロットNo. は、図示の位置に示すものとしします。
4 図示の通り、IT8のピンアサインはGSSG.となります。クロスベアは網目で示した箇所となります。
クロスベアはFEXTノイズを減少させるために製品中央部にて端子が交差しております。
5 IT8*-288P-BGA-*H(**)のはんだ結合部に対するストレスを防ぐため、マザーボードとドーターカード間に金属のスペーサーを挟み、固定するものとしします。
6 本製品は、信号 288 芯とグランド 168 芯の構成となります。
7 嵌合状態でのスペーサー高さを表1に示します。

表 1 スペーサー高さ

スペーサー高さ (X)	32	33	34
プラグ-D (挿抜側)	IT8D-***P-BGA-0H(**)	IT8D-***P-BGA-0H(**)	IT8D-***P-BGA-1H(**)
インターポーザー	IT8-***S-32H(**)		
プラグ-M (固定側)	IT8M-***P-BGA-0H(**)	IT8M-***P-BGA-1H(**)	IT8M-***P-BGA-1H(**)

IT8 組立て工程

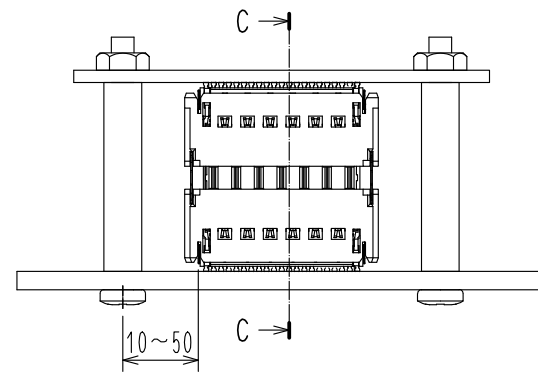
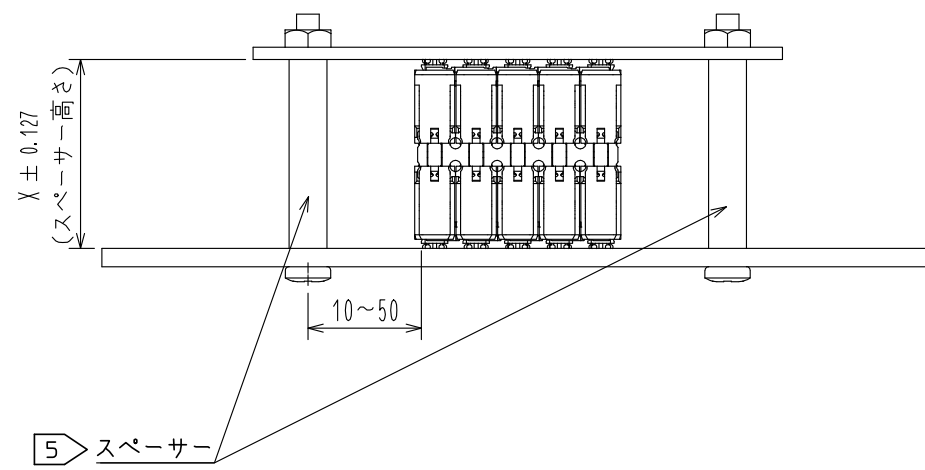


1) 実装された固定側のプラグ (IT8M-***P-BGA-***H(**)黒ハウジング) と
インターポーザの黒ハウジング側をインターポーザの天面を押して嵌合します。

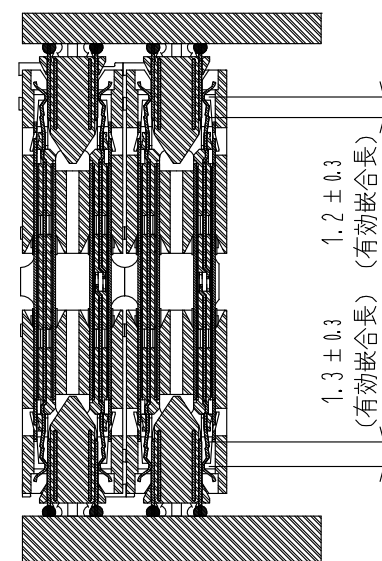
2) 挿抜側のプラグ (IT8D-***P-BGA-***H(**)グレーハウジング) と
インターポーザのグレーハウジング側を嵌合します。

3) 挿抜側を嵌合後、ナット等を使用して、スペーサーを締め、基板を固定してください。

IT8 嵌合状態



C-C
(2.5:1)



HRS

DRAWING NO.	ADC-370997-00-00
PART NO.	IT8-288S-32H
CODE NO.	CL0636-3514-0-00

2/2